

それぞれの地区の特性を活かした『地区別計画』 12月に各地区で確定予定!!



地域福祉保健計画とは

誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるように、区民の皆さん、活動団体、行政等が協力して、地域の中でお互いに支えあえる関係の充実を目指し、地域をみんなでより良くしていくための計画です。

第3期港南区地域福祉保健計画は、平成28年度から平成32年度までの5か年の計画で、区全体の課題に対する取組を示す「区計画」と、地区ごとの特性に合わせた取組を示す「地区別計画」があります。今回は、「地区別計画」の検討の様子などを紹介します。



地域福祉保健計画の概念図

【横浜市地域福祉保健計画】

- 市としての基本理念や方向性を示す
- 区の実施の支援策等

港南区地域福祉保健計画

区計画

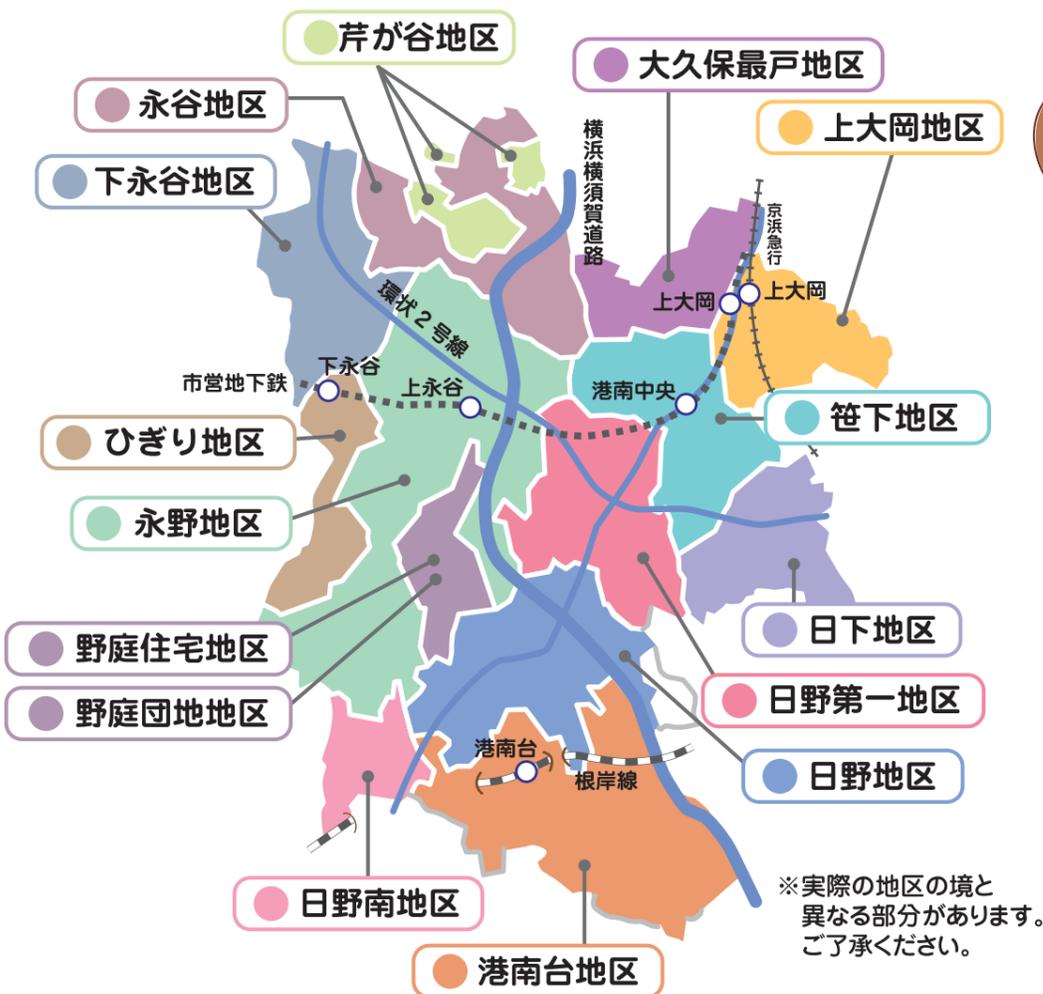
区全体の課題を踏まえた取組内容を示す

区民意見募集などで頂いた皆さんの声をもとに策定。(前号で紹介)

地区別計画

地区ごとの特性や課題を踏まえた取組内容を示す

今回、検討の様子などを紹介します。



地区別計画は、港南区内に15ある連合町内会・地区社会福祉協議会のエリアごとに、地区の特性を取り入れながら策定する計画です。

上大岡地区



「みんなで上大岡を考える会」で100名近くの多くの方で意見交換した内容をもとに、各町内会・自治会・委嘱委員等が出した意見を計画に取り入れました。

大久保最戸地区



5月に策定のキックオフ集会を開催。3つの目標に沿って5自治会町内会とエリア内にある学校の先生も加わり5年間の取組を考えました。

菅下地区



意見交換会でのみなさんからの意見をもとに、「ふるさと・菅下」を目指し、具体的な取組を計画に盛り込みました。

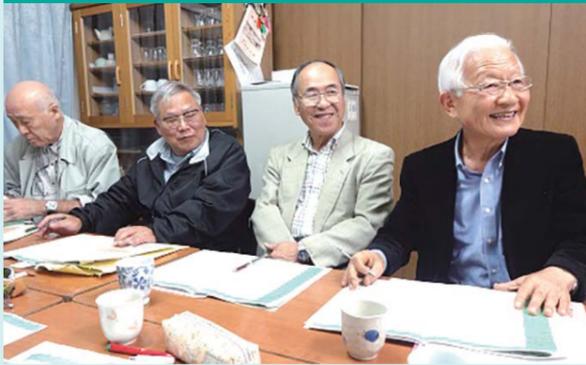
日下地区



「ひした未来カフェ」を開催し、様々な世代が“こんな地域にしたい”という思いを語り合う場で、多くの方の意見を計画に取り入れました。



日野地区



地域づくり意見交換会参加者や各自治会町内会・委嘱委員等の多くの意見を集め、さらに10月の「地域づくり意見交換会」で計画を進めるための議論を行いました。

日野第一地区



意見交換会で出された意見から検討を重ね、「ふれあいフェスタ」で“いいな”と思う取組にシールを貼る場を設け、子どもから大人までの多くの方が計画づくりに参加しました。

港南台地区



支えあいネットワーク連絡会で各団体の課題を共有し、これから取り組んでいきたい夢を語り合い、多くの皆さんに届く計画を目指しました。

永野地区



全体会議で「くじら計画3つの目標」を取り上げ、各自治会町内会と各活動団体の取組の紹介を通じて、次期計画について話し合いました。

野庭団地地区



地域支えあいネットワーク会議で出された「5年後の野庭団地のなりたい姿」から「いきいき健やかふるさと♥のぼ」を将来ビジョンに据え、6つの柱を決めました。

野庭住宅地区



『住民全世帯アンケート』を実施し、その結果をもとに意見交換会を行って目標とこの先5年間の取組を考えました。

下永谷地区



各自治会町内会の住民と地域のイベントなどで、地域活動についてのアンケートを実施して計画に反映させました。

永谷地区



支えあいネットワークでこれまでの取組を振り返り、目標に沿って地区別計画を「じぶんごと」にするための活動のしくみを考えました。

芹が谷地区



シルバークラブ・民生委員・子ども会での定例会で検討し、支えあいネットワークで「3つの目標につながる夢」と「達成のための活動」を出し合いました。

ひざり地区



福祉保健活動の活性化、健康づくり、高齢者、障害児・者、子ども・青少年の5つの部会に分かれて検討し、地域づくり大集会で共有しました。

日野南地区



高齢化、認知症の現状を踏まえ、子どもや障害者の取組もさらにすすめたいなど、様々な意見を交わし、計画づくりを行いました。

11月7日「こうなん子どもゆめワールド」にあわせて

「こんなまちになったらいいな」をテーマに、子どもたちが絵を描いてくれました。

「お花がいっぱいのまち」
「サッカーができるまち」
「どこでもドアがあるまち」
など、豊かな発想で、素敵な町のイメージが膨らみました。

